

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	産業振興課		
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2. 「二宮ブランド」の開発と活性化	
分野別方針	(4) 地域資源を活かした効果的な農地の保全		実施計画事業	遊休・荒廃地対策事業 (No.53)	
予算等事業名	遊休・荒廃農地対策事業				
目的	農地の荒廃地化の防止と町民の余暇利用を推進する。				
内容	遊休・荒廃農地を解消し、農地の保全に努める				
根拠法令・条例等	農地法				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか						
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか						
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績	H24末面積(386,833㎡)+H25新規面積(44,973㎡)=H25末面積(431,806㎡) 農地の賃貸借等により、3,152㎡解消				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	遊休・荒廃農地解消面積				
前期(27年度)目標値	0.6ha			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
単位:					
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	前年度の解消面積より	
	0.3ha				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		141	102				
財源内訳	一般財源	122	102				
	国庫支出金						
	県支出金	19					
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 法定業務のため	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 法定業務のため	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 遊休・荒廃農地を把握し、解消を促すことができた	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 解消に要する費用を補助しているが、有効に活用されている	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 補助金等を活用し、遊休・荒廃農地を新規就農者に斡旋することで解消につなぐことができた	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	解消困難な遊休農地の取り扱い	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	遊休荒廃農地の解消に向け、引き続き事業を継続する必要がある。		
今後の方向性	引き続き推進する。		